

観V&Cリスト

日出彦

(2005. 5)

今月はC2です。

【コンスタンチン】(C)キアヌ・リーブス主演のオカルトものというか、悪魔ものです。神は善、悪魔は悪という図式は人間の偏見で、神と悪魔という二大勢力の抗争にすぎず、天国と地獄はそれらのモノの世界で、人間世界と4次元的につながっている。両者の協定で人間世界は中立地域のように姿を具現させないルールであるが、時々違反をするモノがいて、それを退治するのがキアヌの役どころである。それにしても、天使はバレエ教室で練習中のバレリーナだよ。

悪魔には工夫を凝らしてカネをかけているのに、ひどいね。☆☆★



【阿修羅城の瞳】(C)市川染五郎、宮沢りえ主演の妖怪ものです。もともとは舞台劇とのことですが、笛吹き童子の映画を見るような気分で見ました。筋はなぜかコンスタンチンに似ていますが、時は江戸時代の文化文政期、というと11代将軍家斉の時代、町人文化の花開いた時代です。ロシアをはじめ異国からの接点を持ち始めた時期でもあります。鬼が人間界で人の形をして棲んでいるが、時々人を喰らうため、鬼を退治する鬼御門がいます。ブレイドの影響が大きい画面です。その元鬼御門と鬼の王、阿修羅との恋模様が主軸ですが、まあ特撮を楽しめば十分。☆☆☆



【さとうきび畑の唄】(V)TBSの明石家さんまと黒木瞳主演の反戦テレビドラマのビデオです。森山良子のヒット曲にエキスパイアされた歌謡ドラマですね。あんまり、期待しないで仲間由紀恵も出ていたので借りてきたのですが、結構よかった、満足です。ザワワ、ザワワ・・・というのは確か「NHKの歌」でデビューですね。さんまはふざけすぎですが、ラストとの対比でうまく収まります。冒頭、黒木瞳の高校生の孫がいるおばあさん役は若すぎる！と感じましたが、終戦の年に生まれたとすると、まだ60歳ですからいいのかも。

あらすじは <http://www.tbs.co.jp/zawawa/> を見てもらいましょう。沖縄の写真館一家の物語です。☆☆☆☆